

動物園を活用したマダガスカルのESDパイロットマテリアルの構築

宮城教育大学
齊藤 千映美



【活動地域】

マダガスカル

【概要】

JICAの活動と連携しながら、マダガスカルの社会教育機関(動物園)を通じたESD推進モデルを構築する。

【目標】

本プロジェクトでは、2010年11月、マダガスカルでモデル研修会等を実施し、昨年(2009年)度開発したマテリアルの改定、実証、普及を図る。

【体制】

事業実施者: 宮城教育大学、仙台市八木山動物公園、国立科学博物館

協力: JICAマダガスカル、JICA東北

マダガスカル側協力者: 国立チンバザザ動植物園、国立教員養成学校、国民教育省カリキュラム開発課・識字教育課

①2010年8月7日～17日、マダガスカル渡航調査による事前調整



国民教育省にて



Benasandratra教員養成学校



小学校

・・・ チンバザザ動物園スタッフの主導のもと、JICAマダガスカル、および派遣協力隊員中村純二氏(Benasandratra教員養成学校)などのご協力で研修の要綱を決定。

②2010年9月30日、TV会議・JICA東北(仙台)ーJICAマダガスカル

・・・ JICAマダガスカルのスタッフ、協力隊員らと日本側チーム、JICA東北間で今後の活動について意見交換。

③ESD研修「社会教育施設を活用したマダガスカルESDの推進」の実施

11月18日(木)Day1: 技術研修会「授業に役立つESDの技術と地域資源の活用」

11月19日(金)Day2: 研究ワークショップ

「APS導入による授業の変容と日本におけるESD経験の活用」

場所: マダガスカル高等教育省セミナーホール、国立チンバザザ動植物園

主催: PBZT(国立チンバザザ動植物園)、DCI(国民教育省カリキュラム開発課)、

DEPA(国民教育省就学前教育・識字教育課)、INFP(国立教員養成学校)



【成果物】

ESD指導者向けマテリアル「動物園を活用したESDパイロットマテリアル(仮称)」

活動報告書「マダガスカルをモデルケースとする動物園ESDの推進(仮称)」(CD版)

動物園を活用したマダガスカルのESDマテリアル構築

